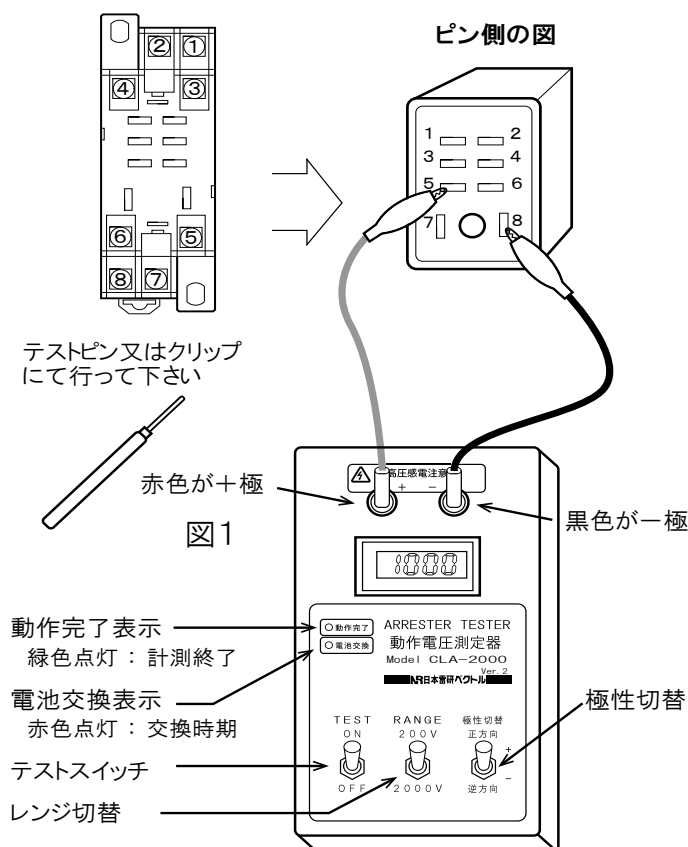


## ●端子配列と結線図



## チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。

1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。

TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

## ●点検前のご注意

- ① 安全のため配線されたソケットより外しておこなってください。
- ② 感電にご注意下さい。  
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないで下さい。
- ③ メーターのサンプリング周期により読み取り誤差があります。  
2～3回程度おこなってください。

## ●点検後・・・新品交換待ちになった場合

- ① 劣化と判断した場合であっても電源・信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻して下さい。  
交換までの雷サージ対策となります。

## ●素子の良否判定

- ① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えて下さい。
- ② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にして下さい。(極性切替時使用します)
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続して下さい。
- ④ TESTスイッチをONに投入して下さい。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。

## &lt;小容量交流電源用避雷器&gt;

| 各素子   | 測定端子間 | 端子番号<br>＋極／－極 | 印加電圧<br>(レンジ) | 確認内容<br>下記の範囲であること | 故障モード<br>(通常)   |
|-------|-------|---------------|---------------|--------------------|-----------------|
| 対地間Z1 | E/L1  | ①/④           | 2000V         | DC612 - 748V       | ※ SHORT or OPEN |
| 対地間Z2 | L2/E  | ③/①           | 2000V         | DC612 - 748V       | ※ SHORT or OPEN |
| 線間Z3  | L2/L1 | ③/④           | 2000V         | DC247 - 303V       | SHORT           |
| 通報ALM | A1/A2 | ⑦/⑧           | 200V          | SHORT              | OPEN            |

※ TF(温度FUSE)付の為、OPENの場合もあります。